

配布
大洞 4-51
東山 4-49
北山 38-335
北山 5-81
桜台 23-288
桜市 1棟18
2棟16
3棟17
4棟21
5棟15
6棟22
8棟15
11棟13
25棟8
145
柏台 31-284
14棟4-20
15棟4-14
桐丘 23-163
桐市 19&20棟6-23
紅葉 20-217
紅市 16-50
合計 212-1720

小学校 地域社会人としての基礎を

一藍東学園芥見東小学校校長・山田 哲也さん
本校の教育活動にご尽力いただいた地域の皆様方にはまずもって感謝申し上げます。毎日の登下校の見守りはもちろん「ハートルーム活動」「中将姫誓願桜の学習」「ごみゼロ運動」「毒蛇を知ろう」「山田川清掃」「山田川のほたるを守る学習」「学校校門前花壇整備」「学校周辺の草刈り」「紙飛行機クラブ」等、本当に多くの方に講師として



支えていただきました。「防災訓練」「狂俳」「キャリア教育」「里山学習」等も計画しています。本校では、1年生から4年生までは本校区・岐阜市の自然や文化、5年生では岐阜市を離れて、岐阜県を代表する施設等の体験活動を行うことで、岐阜への愛情をもつ児童の育成を図りたいと考えています。そして、6年生では日本の歴史・文化へと目を向けていきます。義務教育の9年間で地元を愛し、大切にす地域社会人としての基礎を培うことができたかと考えています。今後とも本校の学校運営にご協力をお願いいたします。



支部だより 運動(ウォーキング)

一コモンヒルズ北山・匿名さん

最近、車に乗っているとウォーキングしている方々をよく見かけます。私も50歳を過ぎて、健康診断書のCの文字を見る機会が増えてきました。私も運動しなければと思う毎日です。しかし、運動しないとイケないと思っても、なかなか実行できていません。もし実行できたとしても、それを継続することは難しいことです。



そこで、思い切ってウォーキングを始めようと考えました。というのもウォーキングには、生活習慣病や骨粗しょう症など、今後気になってくるであろう病気への効果があるからです。

また、ウォーキングなら自分のペースで実行できて、継続も容易でしょう。手始めに、一日あたり8000歩程度を目安に始めてみようと思います。仕事でも意識的に歩き、帰宅後に不足分だけ歩くようにしようと思います。効果がでることを祈って毎日頑張ります。

子ども会 ~芥見東少年消防クラブ~

一芥見東少年消防クラブ幹事長・松野 好美さん

今年度、芥見東少年消防クラブ幹事長の役を仰せつかりました松野です。コロナ禍の中、引き継ぎなどもなかなか難しく、前年度やその前の役員の皆さんが作って下さったノートを見て、何とかやっている状態です。

そんな中、4月に行われた初めての岐阜市少年消防クラブ運営協議会では「芥見東少年消防クラブ」が、他の2つのクラブと共にクラブ表彰を頂きました。今までのクラブ活動の努力が蓄積して、立派に実った結果だと思います。表彰状は、芥見東公民館に飾って頂けるという事ですので、皆さんに見てもらえると嬉しいです。



現在第7波の流行で、また色々な行事の中止や見直しがあり、なかなか子ども達と集まる事も出来ない状態で残念です。インリーダー生の皆さん、コロナや暑さに負けず、行事で元気に会えるのを楽しみにしています。もう少し頑張りましょうね。

中学校 地域の方々との交流を深める

一藍東学園藍川東中学校2年・水野 仁愛さん

私たちハートルームボランティアは、地域の方や小学生の皆さんと活動をしています。ハートルームでは、グループごとに活動していて、主に飾りつけや交流を行っています。飾りつけでは、地域の方や小学生の皆さんと相談をして、少し早いですがハロウィンの飾りつけを行っています。私たち中学生は、自分たちのアイデアを発表したり、地域の方々の意見を聞いたりして交流し、より良い飾りつけができるように頑張っています。

ほかにも、地域の方々と協力をして、地域の清掃活動に取り組んでいます。ただ掃除をするだけでなく、学校のことなど、たくさんお話をしながら楽しく活動を行っています。



そして、地域の方々は、私たちの安全を願い、登校する時や、下校する時に、交差点や歩道など、交通量が多い場所や人目に付きにくい場所など、いろいろなところで見守ってくださっています。学校でも、地域や家庭といっしょになってより良い学校を作るための会議を開いてくださっています。

私たちも、もっと地域の方々との交流を深めていきたいです。

寄稿 災害時の準備をしていますか？

—桜台・篠田 進さん

残暑が厳しいこの時期、いかがお過ごしでしょうか。

さて、この地域は大きな災害が最近はなく、穏やかな年月が続いていますが、日本各地では風水害、土砂災害、地震が頻繁に発生しています。特に阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震の被害状況は皆さんご承知のとおりです。

阪神淡路大震災発生から4週間後に、現地で災害復旧している同僚との打合せの為に、現地に行ったことがありますが、尼崎までほとんど被害は見受けられませんが、西に向かうにつれて被害は深刻さを増し、三ノ宮駅前ではビルは傾き、道路は隆起し、粉塵と火災跡の影響等で、呼吸するのが辛い悲惨な状況だったことを、記憶しています。

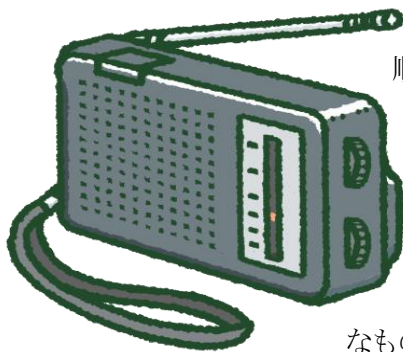
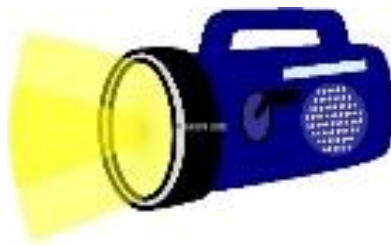
災害は季節、日時、昼夜を選びません。地震はある日突然なんの予兆もなくやってきます。では、災害に備えて準備するものは何か。

災害時に落ち着いて行動するには【水・ライト・ラジオ】の3点が重要だといわれています。

- ①清潔でおいしい飲料水がないと脱水症状を起こす。(水道水で十分)
- ②光がないと精神的に不安定になる。
- ③デマに流されない正確な情報

上記3点に加えて、低体温症防止の為に

毛布、支援が届く三日間程度の食料品、被災時に生き延びるためには『3分・3時間・3日・3週間』これは【空気・



体温・水分・食料】の順序です。一義的に命を守るのは自分自身です。覚えておくと思います。個々の事情、住んでいる環境等で、必要なものはそれぞれ違うと思いますので、穏やかな状況の今、自分・家族にとって何が災害時に必要か、考えて頂き準備されてみてはどうでしょうか。 □■

青少年育成 水ロケット飛ばしを開催

—芥見東青少年育成市民会議・笈田 亮さん

7月31日(日)に芥見東小学校校庭で「水ロケット」を飛ばすというイベントを数年ぶりに開催させて頂きました。

水ロケットをつくり、飛ばすという事に対し、キラキラした児童たちの表情がとても印象的でした。

コロナ禍という事もあり、人が集まって行うイベント事は自粛傾向ではありますが、今回のように地域の人々が交流することで、自然災害等の際に協力して行動が出来るのではないかと感じます。核家族化し、少子化により「ご近所」との付き合いが希薄になっている現代ですが、こういったイベントや、日頃の挨拶等で地域が繋がっていかればと思います。

デジタル社会で、ネット環境があれば世界中と繋がる事が出来、非常に便利ではありますが、それだけでなく、リアルな交流、ネットの交流を合わせることで良い社会、便利な社会になっていくのではないかと思います。 □■



予告 芥見東市民うんどうかいの開催

—芥見東まちづくり協議会

ご承知の通り、一昨年に続き昨年も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け「芥見東市民うんどうかい」の中止を余儀なくされました。今年度はコロナ禍ではありませんが、社会活動が再開されつつありますので基本的感染防止対策を実施し、前回同様地域の実情に配慮し負担をできるだけ減らすため、午前中に終了することとし、「芥見東市民うんどうかい」を、10月2日(日)午前9時より芥見東小学校校庭において開催することといたします。

なお、今年も若い世代、特に小学生、中学生が参加しやすい種目を中心に、幼児、高校生及び一般にも参加して頂けるプログラム内容となっております。

若い世代が元気いっぱい集い・楽しく競う姿をご覧いただき、また励まし、さらにご参加もいただきたいと思っております。 **高校生ボランティア募集 ☎ 241-1062** □■

